

## 21世紀COE シンポジウム報告書

理学研究科 中西 和樹

名称:

第2回京都大学化学系COE合同シンポジウム

「低温合成法による新機能性材料の創製」

世話人：京都大学大学院理学研究科化学専攻（斉藤 COE）中西和樹

京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻（小久見 COE）安部武志

場所：桂キャンパスA2棟307号室

日時：2006年2月17日（金）10：30～17：25

参加者：大学院学生、学生、博士研究員、教員

参加者総数：54名

### シンポジウム内容

演者と演題は以下の通りである。

松井敏明（京大院工）中温作動形燃料電池用電解質の作製とその特性

荒谷直樹（京大院理）メゾ-メゾ結合ポルフィリン超多量体の化学

田原聖一（早大理工）イオン交換性層状ペロブスカイトの層表面修飾による無機-有機ハイブリッドの合成

岩本伸司（京大院工）グリコサーマル法によるシリカ修飾チタニア微結晶の合成およびその物性

金森主祥（京大院理）新規透光性多孔材料の液相合成

嵯峨根史洋（京大院工）異種電解質界面におけるリチウムイオン移動

中西和樹（京大院理）相分離を伴うゾル-ゲル過程と階層的多孔材料の設計

松尾吉晃（兵庫県大）疎水化した層状化合物薄膜中の色素の発光特性

斉藤、小久見各COE所属研究グループの、教員、院生、博士研究員の他、早稲田大学および兵庫県立大学からも講師を招き、低温プロセスおよび溶液プロセスによる、主に無機系の材料合成と物性制御について、幅広い話題が提供された。また、桂キャンパスにおいて開催したことにより、工学研究科所属の学生・院生が多数来聴し、年度末の学生数の少ない時期にも関わらず盛況となった。各講演の後、活発な質疑がなされ、学術面のみならず教育面においても有意義なシンポジウムとなった。

